

三菱電機株式会社 インバータ
FREQROL-F700P シリーズ
FR-F720P-0.75K

サンプル画面説明書

サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

- (1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。
- (2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。
- (3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合は、その限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。
- (4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。
- (5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。
- (6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。
- (7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

目次

改訂履歴	4
1. 概要	5
2. システム構成	5
3. GOT について	5
3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション	5
3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定	5
3.1 作画ソフトウェアのオーバーラップウィンドウ設定	5
4. インバータ FREQROL-F700P について	6
4.1 インバータ FREQROL-F700P の通信設定	6
4.2 インバータ FREQROL-F700P のパラメータ設定	6
5. 画面仕様	7
5.1 表示言語	7
5.2 画面一覧・遷移	7
5.3 画面説明	9
5.3.1 メニュー (B-30001)	9
5.3.2 運転指令&モニタ (B-30002)	10
5.3.3 グラフ (B-30003)	12
5.3.4 アラーム (B-30006)	14
5.3.5 パラメータ 1 (B-30004) 、パラメータ 2 (B-30005)	15
5.3.6 マニュアル表示 (B-30500)	16
5.3.7 アラームリセット (W-30001)	18
5.3.8 言語設定 (W-30002)	19
5.3.9 時計設定 (W-30003)	20
5.3.10 モニター括表示 (W-30004)	21
5.4 使用デバイス一覧	22
5.5 コメント一覧	24
5.6 スクリプト一覧	24
6. マニュアル表示について	29
6.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備	29

改訂履歴

サンプル画面説明書

改訂日付	管理番号*	改訂内容
2013/9	BCN-P5999-0087	初版
2015/2	BCN-P5999-0087-2	ドキュメント ID のデバイス指定対応

* 管理番号は、右下に記載しています。

プロジェクトデータ

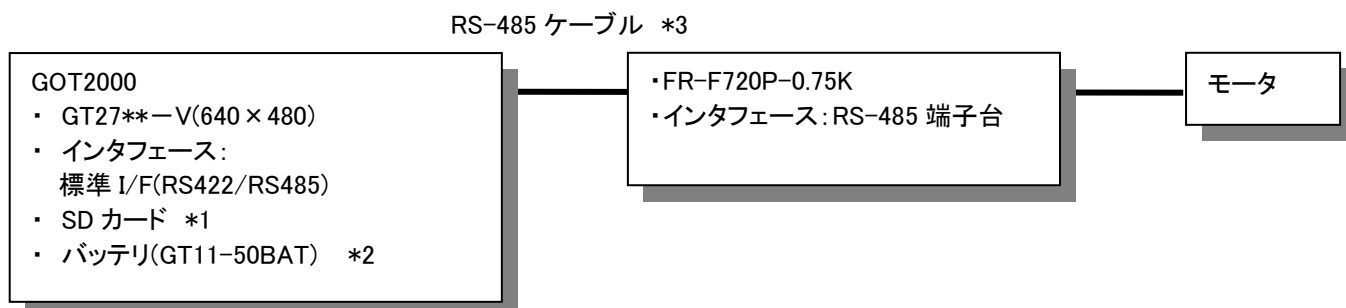
改訂日付	プロジェクトデータ	GT Designer3*	改訂内容
2013/9	MITSUBISHI_FR-F700P_V_Ver1_J. GTX	1. 100E	初版
2015/2	MITSUBISHI_FR-F700P_V_Ver2_J. GTX	1. 126G	ドキュメント ID のデバイス指定対応

* プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

1. 概要

GOT2000 とインバータ FREQROL-F700P (FR-F720P-0.75K) をシリアル (RS-485) で接続し、インバータへの運転速度・回転方向の変更、出力周波数・出力電流のモニタなどを行うサンプル画面の説明書です。

2. システム構成



*1: SDカードは、ロギング機能・ドキュメント表示機能で使用しています。

*2: バッテリーは、時計データおよびSRAMユーザ領域のロギングデータの停電保持に使用しています。(バッテリーは GOT 本体に標準装備しています。)

*3: ケーブルの詳細については、「GOT2000シリーズ接続マニュアル(三菱電機機器接続編)」を参照してください。

3. GOT について

3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

種類	システムアプリケーションの名称		
基本機能	基本システムアプリケーション		
	標準フォント		日本語
通信ドライバ	FREQROL 500/700		
拡張機能	標準フォント		中国語(簡体)
	アウトラインフォント	ゴシック	英数かな
			日本語漢字
			中国(簡体)漢字
	ドキュメント表示		

3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定

詳細設定

項 目	設定値	備 考
ボーレート (BPS)	38400 bps	(初期値: 19200bps)
データ長	7 bit	
ストップビット	1 bit	
パリティ	奇数	
リトライ回数(回)	3	
通信タイムアウト時間(秒)	3	
送信ディレイ時間(ms)	10	

3.1 作画ソフトウェアのオーバーラップウィンドウ設定

ベース画面の切り換え時にウィンドウ画面を閉じるために、[画面切り換え/ウィンドウ]のオーバーラップウィンドウの[詳細設定]で[ベース画面の切り換えと同時にウィンドウを閉じる]を有効にしています。

4. インバータ FREQR0L-F700P について

4.1 インバータ FREQR0L-F700P の通信設定

項 目	設定値	備 考
RS-485 通信局番	0	局番 0
RS-485 通信速度	384	38400bps (初期値:9600bps)
RS-485 ストップビット長	10	1bit(初期値:1)
RS-485 パリティチェック選択	1	奇数パリティあり(初期値:2)
RS-485 通信リトライ回数	9999	異常停止なし(初期値:1)
RS-485 通信チェック時間間隔	9999	交信チェックなし(初期値:0)
RS-485 通信待ち時間設定	0	(初期値:9999)
RS-485 通信 CR/LF 選択	1	CR あり
プロトコル選択	0	三菱インバータプロトコル
運転モード選択	0	電源投入時、外部運転モード
通信立上りモード選択	2	ネットワーク運転モード(初期値:0)
通信 EEPROM 書き込み選択	0	EEPROM と RAM に書き込む

4.2 インバータ FREQR0L-F700P のパラメータ設定

弊社で動作確認した際の設定値は下記となります。

項 目	設定値	備 考
トルクブースト	6.0	初期値
上限周波数	120	初期値
下限周波数	0	初期値
3 速設定 (高速)	60	初期値
3 速設定 (中速)	30	初期値
3 速設定 (低速)	10	初期値

5. 画面仕様

5.1 表示言語

画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の3言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No. 499、500 の列 No. 1~3 に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No. を格納すると列 No. に対応した言語を表示します。

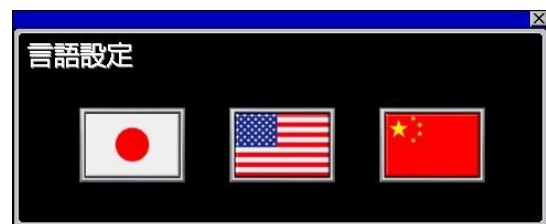
列 No.	言語
1	日本語
2	英語
3	中国語(簡体)

5.2 画面一覧・遷移

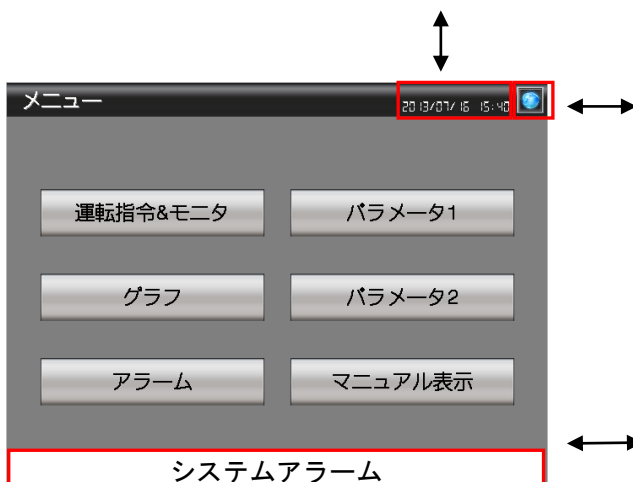
5.2.1 画面一覧・遷移(共通)



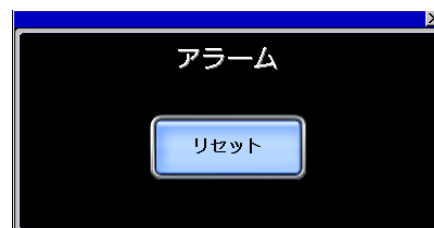
ウィンドウ画面 W-30003 : 時計設定



ウィンドウ画面 W-30002: 言語設定

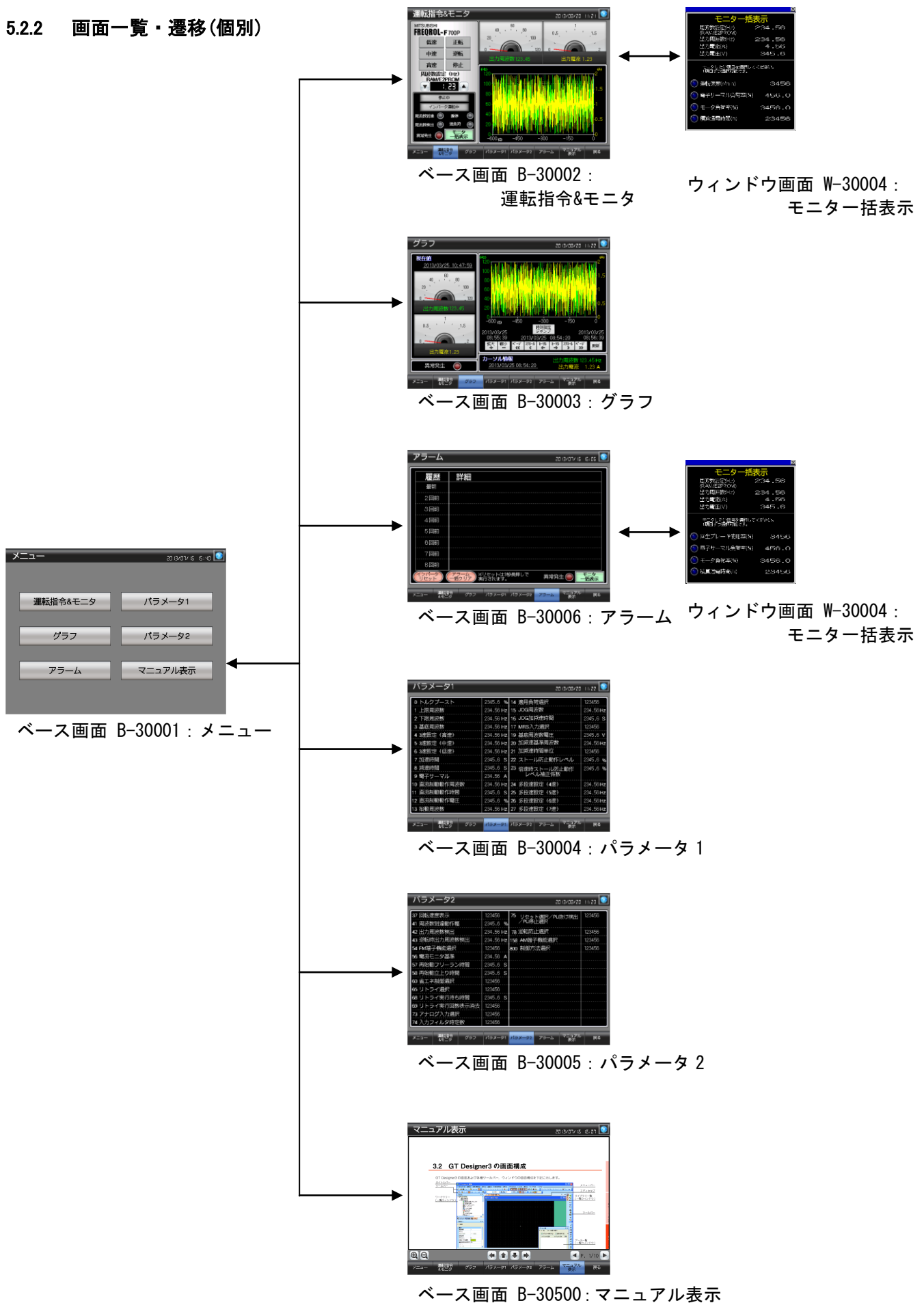


ベース画面 B-30001 : メニュー他全ベース画面



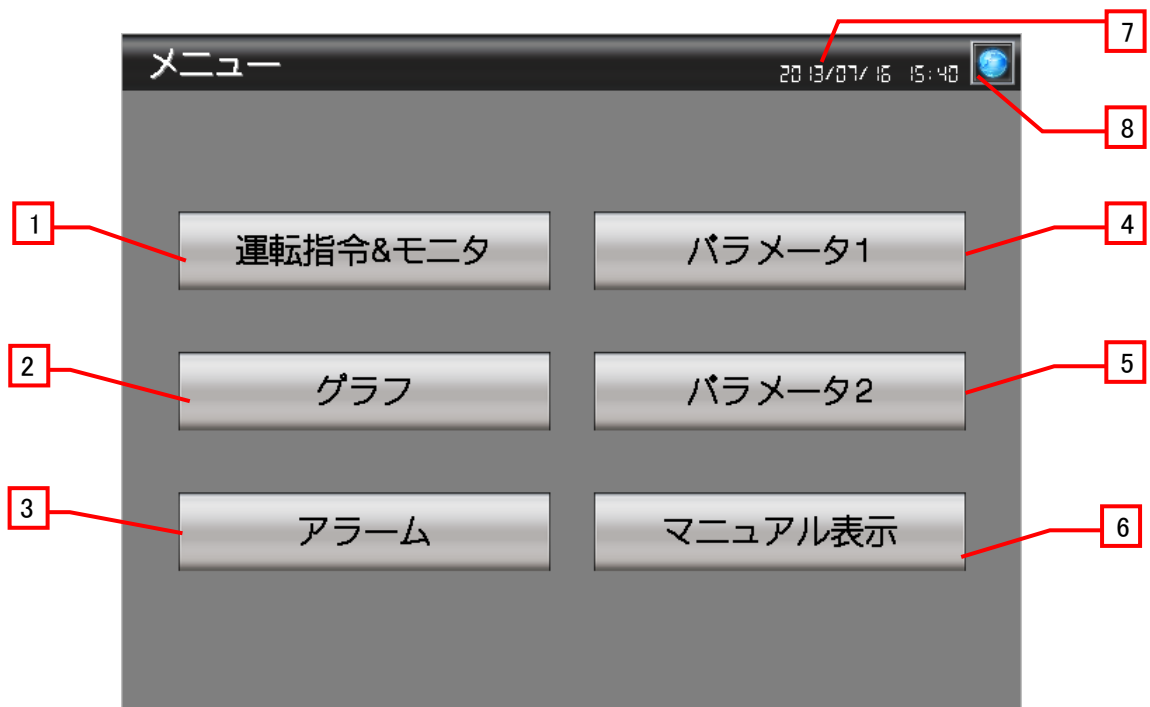
ウィンドウ画面
W-30001 : アラームリセット

5.2.2 画面一覧・遷移(個別)



5.3 画面説明

5.3.1 メニュー (B-30001)



概要

メニュー画面です。

詳細

1. 運転指令&モニタ画面に切り換えます。
2. グラフ画面に切り換えます。
3. アラーム画面に切り換えます。
4. パラメータ 1 画面に切り換えます。
5. パラメータ 2 画面に切り換えます。
6. マニュアル表示画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.2 運転指令&モニタ (B-30002)



概要

インバータの運転指令、各種モニタの表示や、ロギング機能で収集した出力周波数と出力電流の値をヒストリカルトレンドグラフで表示します。

詳細

- 速度と回転方向を指定して運転します。
 - 低速・中速・高速をタッチし、正転・逆転をタッチします。
パラメータで予め設定されたそれぞれの速度で運転します。
停止をタッチで、運転を停止します。
 - 数値入力で直接速度を設定して、正転・逆転をタッチします。
数値入力左右のタッチスイッチは速度を1ずつ増減します。
停止をタッチで、運転を停止します。
- インバータの状態をランプで表示します。

停止中・正転中・逆転中	: インバータの回転方向を点灯表示します。
インバータ運転中	: インバータ運転中に点灯します。
周波数到達	: 出力周波数が設定周波数に到達すると点灯します。
周波数検出	: 出力周波数を検出すると点灯します。
瞬停	: 瞬時停電時に点灯します。
過負荷	: ストール防止機能動作中に点灯します。
異常発生	: アラーム発生時に点滅します。
- モニター括表示ウィンドウを表示します。
- 出力周波数をパネルメータと数値表示で表示します。
- 出力電流をパネルメータと数値表示で表示します。
- 出力周波数・出力電流をヒストリカルトレンドグラフで表示します。
- 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 前回表示していた画面に切り換えます。
- 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
- 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 速度と回転方向スイッチに、オブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時も、インバータは運転指令&モニタ画面で設定した速度・回転で運転を続けます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.3 グラフ (B-30003)



概要

ロギング機能で収集した出力周波数・出力電流のデータをヒストリカルトレンドグラフで表示します。

詳細

1. 現在の日時を表示します。
2. 出力周波数と出力電流の現在値を、パネルメータと数値表示で表示します。
3. アラーム発生時に点滅します。
4. 出力周波数と出力電流をヒストリカルトレンドグラフで表示します。グラフ上をタッチすると、カーソルを表示します。グラフ上をタッチした状態で左右にフリックすると表示内容が左右にスクロール表示します。また、水平方向にピンチアウト・ピンチインすると時間軸を基準にグラフを拡大・縮小表示します。
5. ヒストリカルトレンドグラフの表示開始位置時刻と表示終了位置時刻を表示します。
6. 日時を入力し、時刻指定ジャンプスイッチをタッチすると、指定した日時の値をグラフの中央に表示します。画面初回表示時には日時に現在日時を格納します。
7. ヒストリカルトレンドグラフを操作します。
 - 拡大 : グラフの時間軸を新しいデータの軸を基準に、拡大(2倍)表示します。
 - 縮小 : グラフの時間軸を新しいデータの軸を基準に、縮小(1/2倍)表示します。
 - ページ<< : ページを左にスクロール表示します。
 - スクロール< : グラフを左にスクロール表示します。
 - カーソル← : カーソルを表示し、カーソルを古いデータの方にスクロール表示します。
 - カーソル→ : カーソルを表示し、カーソルを新しいデータの方にスクロール表示します。
 - スクロール> : グラフを右にスクロール表示します。
 - ページ>> : ページを右にスクロール表示します。
 - 更新 : カーソルを消去し、最新のデータを表示します。
8. カーソル位置の日時・出力周波数・出力電流を表示します。
9. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
10. 前回表示していた画面に切り換えます。
11. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
12. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 時刻指定ジャンプスイッチにオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時も、インバータは運転指令&モニタ画面で設定した速度・回転で運転を続けます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.4 アラーム (B-30006)



概要

インバータのアラーム履歴を表示します。

詳細

1. ワードランプで最新から8回前までのアラームを表示します。
2. アラームに関連するスイッチとランプです。
インバータリセット : インバータをリセットします。
アラーム一括クリア : 異常履歴を一括クリアします。
異常発生 : アラーム発生時に点滅します。
インバータリセットとアラーム一括クリアは、3秒長押しします。
3. モニター一括表示ウィンドウを表示します。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・画面切り換え時も、インバータは運転指令&モニタ画面で設定した速度・回転で運転を続けます。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.5 パラメータ 1 (B-30004) 、パラメータ 2 (B-30005)



概要

インバータのパラメータを設定します。

詳細

1. パラメータのデータ名を表示します。
2. パラメータ値を表示します。設定値を変更可能です。GOT ではインバータで 9999 が設定された項目は 65535 を、8888 が設定された項目は 65520 を表示します。
3. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
4. 前回表示していた画面に切り換えます。
5. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
6. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・画面切り換え時も、インバータは運転指令&モニタ画面で設定した速度・回転で運転を続けます。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.6 マニュアル表示 (B-30500)



概要

表示中の言語に対応したマニュアルを表示します。

詳細

1. マニュアル表示は、言語に応じてそれぞれドキュメント ID 201~203 のドキュメントを表示します。画面初回表示時は1 ページ目を表示します。ドキュメント上をタッチした状態で8 方向にフリックするとドキュメントを8 方向にスクロール表示します。ドキュメントの端が表示されている状態でフリックすると、ページを切り換えます。ピンチアウト・ピンチインすると、大・中・小の3 段階で、ドキュメントが切り換わります。
2. 表示しているドキュメントを操作します。
 - : 表示しているドキュメントを拡大/縮小します。
 - : 表示しているドキュメントを左右にスクロールします。
 - : 表示しているドキュメントを上下にスクロールします。
3. 表示しているドキュメントのページを操作します。
 - : 表示しているドキュメントのページ数を表示します。数値をタッチするとページ番号を変更できます。
 - : 表示しているドキュメントをページ送り/ページ戻しします。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

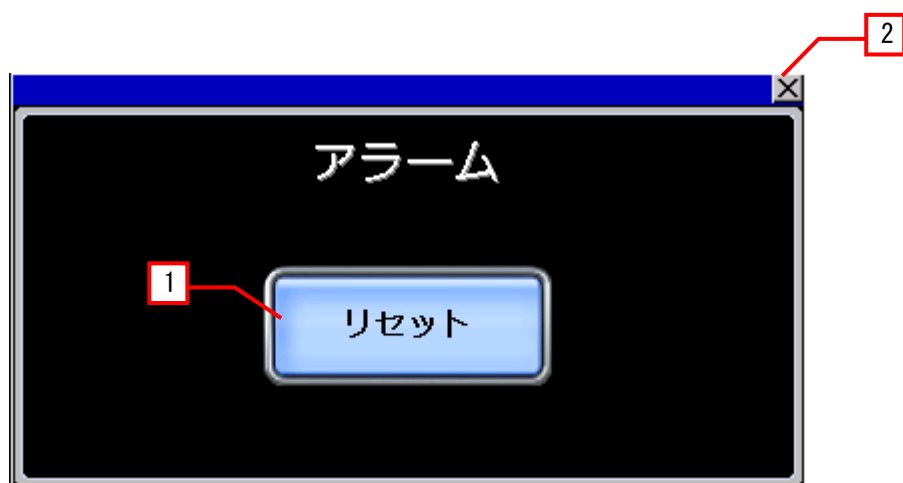
備考

- ・ マニュアル表示のドキュメントは表示言語切り換えに追従します。コメントグループ列 No. と言語、ドキュメント ID は下表のように対応しています。

コメントグループ列 No.	言語	ドキュメント ID
1	日本語	201
2	英語	202
3	中国語(簡体)	203

- ・ GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてドキュメントページ No. に「1」、およびドキュメント ID に「201」を設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ ページ送りスイッチはオブジェクトスクリプトにて総ページ数を超えないようにしています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ マニュアル表示用のドキュメントデータは、お客様で作成してください。詳細については、「6. マニュアル表示について」を参照してください。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.7 アラームリセット (W-30001)



概要

システムアラームをリセットします。

詳細

1. システムアラームをリセットし、1秒後にウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5.3.8 言語設定 (W-30002)



概要

GOT で表示する言語を選択します。

詳細

1. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 表示言語にあわせてシステム言語とマニュアル表示のドキュメント ID も切り換える設定をしています。

5.3.9 時計設定 (W-30003)



概要

GOT の時計データを変更します。

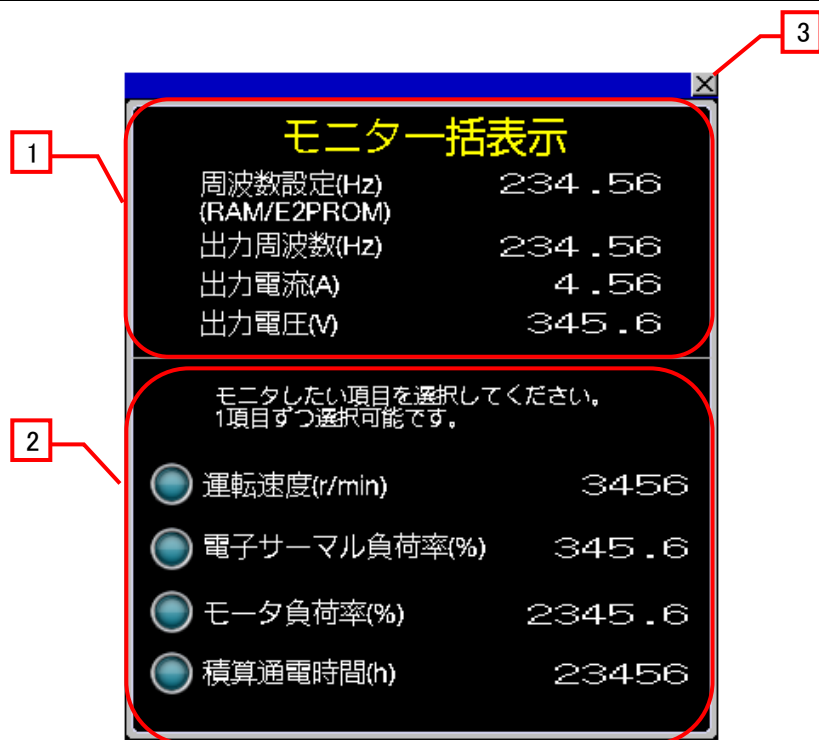
詳細

1. 現在の日時を表示します。
2. 変更したい日時を▼▲スイッチで設定します▼▲スイッチは、長押しすると連続で増減します。リセットスイッチは、秒をリセットします。
3. 設定した日時を GOT の時計データに反映し、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 変更する日時の初期値は、ウィンドウ画面を表示した時の日時です。
- ・ 変更する日時の年・月・日・時・分・秒の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

5.3.10 モニター一括表示 (W-30004)



概要

各種項目の一括モニタと、特殊モニタを表示します。

詳細

1. 周波数設定、出力周波数、出力電流、出力電圧の値を表示します。
2. インバータの特殊モニタを表示します。モニタしたい項目名をタッチして選択してください。選択された項目のランプが点灯し、数値表示が表示されます。選択されていない項目の数値表示は消去されます。
3. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 特殊モニタの数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

5.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。

5.4.1 接続機器のデバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	RS0:0	運転中
	RS1:0	正転中
	RS2:0	逆転中
	RS3:0	周波数到達
	RS4:0	過負荷
	RS5:0	瞬停
	RS6:0	周波数検出
	RS7:0	異常発生
ワード	A0:0	2 回前の異常
	A1:0	最新の異常
	A2:0	4 回前の異常
	A3:0	3 回前の異常
	A4:0	6 回前の異常
	A5:0	5 回前の異常
	A6:0	8 回前の異常
	A7:0	7 回前の異常
	Pr0:0	トルクブースト
	Pr1:0	上限周波数
	Pr2:0	下限周波数
	Pr3:0	基底周波数
	Pr4:0	3 速設定 (高速)
	Pr5:0	3 速設定 (中速)
	Pr6:0	3 速設定 (低速)
	Pr7:0	加速時間
	Pr8:0	減速時間
	Pr9:0	電子サーマル
	Pr10:0	直流制動動作周波数
	Pr11:0	直流制動動作時間
	Pr12:0	直流制動動作電圧
	Pr13:0	始動周波数
	Pr14:0	適用付加選択
	Pr15:0	JOG 周波数
	Pr16:0	JOG 加減速時間
	Pr17:0	MRS 入力選択
	Pr19:0	基底周波数電圧
	Pr20:0	加減速基準周波数
	Pr21:0	加減速時間単位
	Pr22:0	ストール防止動作レベル
	Pr23:0	倍速時ストール防止動作レベル補正係数
	Pr24:0	多段速設定 (4 速)
	Pr25:0	多段速設定 (5 速)
	Pr26:0	多段速設定 (6 速)
	Pr27:0	多段速設定 (7 速)
	Pr37:0	回転速度表示
	Pr41:0	周波数到達動作幅
	Pr42:0	出力周波数検出

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	Pr43:0	逆転時出力周波数検出
	Pr54:0	FM 端子機能選択
	Pr56:0	電流モニタ基準
	Pr57:0	再始動フリーラン時間
	Pr58:0	再始動立上り時間
	Pr60:0	省エネ制御選択
	Pr65:0	リトライ選択
	Pr68:0	リトライ実行待ち時間
	Pr69:0	リトライ実行回数表示消去
	Pr73:0	アナログ入力選択
	Pr74:0	入力フィルタ時定数
	Pr75:0	リセット選択/PU 抜け検出/PU 停止選択
	Pr78:0	逆転防止選択
	Pr158:0	AM 端子機能選択
	Pr800:0	制御方法選択
	SP110:0	設定周波数 (RAM, E2PROM)
	SP111:0	出力周波数
	SP112:0	出力電流
	SP113:0	出力電圧
	SP114:0	特殊モニタ
	SP115:0	特殊モニタ選択 No.
	SP116:0	異常内容一括クリア
	SP122:0	運転指令
	SP125:0	インバータリセット

5.4.2 GOT の内部デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	GB40	スクリプトトリガ (常時 ON)
	GB60131	正転スイッチスクリプト用仮ビット
	GB60132	逆転スイッチスクリプト用仮ビット
	GB60133	低速スイッチスクリプト用仮ビット
	GB60134	中速スイッチスクリプト用仮ビット
	GB60135	高速スイッチスクリプト用仮ビット
	GB60136	スクリプトトリガ (正転スイッチ)
	GB60137	スクリプトトリガ (逆転スイッチ)
	GB60138	スクリプトトリガ (低速スイッチ)
	GB60139	スクリプトトリガ (中速スイッチ)
	GB60140	スクリプトトリガ (高速スイッチ)
	GD60031. b13	GOT エラーリセット信号
	GS512. b0	時刻変更信号
ワード	GD60000	ベース画面切り換え
	GD60001	オーバーラップウィンドウ 1 画面切り換え
	GD60004	オーバーラップウィンドウ 2 画面切り換え
	GD60021	言語切り換え
	GD60022	システム言語切り換え
	GD60031、GD60041	システム情報
	GD60080～GD60082	ドキュメント表示
	GD61201～GD61202	ヒストリカルトレンドグラフ グラフ情報
	GD61221～GD61224	ヒストリカルトレンドグラフ カーソル位置時刻
	GD61225～GD61228	ヒストリカルトレンドグラフ 表示開始位置時刻
	GD61233～GD61235	ヒストリカルトレンドグラフ 表示位置時刻指定
	GD61229～GD61232	ヒストリカルトレンドグラフ 表示終了位置時刻
	GD63990～GD63995	時計のデジスイッチ

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	GS513～GS516	変更時刻
	GS650～GS652	現在時刻
	TMP950～TMP996	スクリプト演算用

5.5 コメント一覧

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
499	No. 1～56	B-30006
500	No. 1～4	B-30001～30500
	No. 4	W-30001
	No. 5、6	B-30001～30500
	No. 7	B-30001
	No. 8	B-30002～30500
	No. 11～28	B-30002
	No. 29、30	B-30002～30500
	No. 31～34	B-30002
	No. 41～56	B-30003
	No. 71～97	B-30004
	No. 98～117	B-30005
	No. 121～134	B-30006
	No. 151	W-30001、W-30003
	No. 152～160	W-30003
	No. 171～183	W-30004

5.6 スクリプト一覧

項目	設定
プロジェクトスクリプト	有り
画面スクリプト	B-30003、B-30500
オブジェクトスクリプト	B-30002、B-30500、W-30003、W-30004

5.6.1 プロジェクトスクリプト

スクリプト No.	30001	スクリプト名	Script30001
コメント	初期設定		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
[w:GD60080]=201; //ドキュメント ID を 201 に設定 [w:GD60081]=1; //ドキュメントページNo.を 1 に設定			

5.6.2 画面スクリプト

ベース画面 30003

スクリプト No.	30002	スクリプト名	Script30002
コメント	現在時刻取得		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
//画面表示時に年月日時分秒を格納 [w:GD61233]=[w:GS650]; [w:GD61234]=[w:GS651]; [w:GD61235]=[w:GS652];			

ベース画面 30500

スクリプト No.	30003	スクリプト名	Script30003
コメント	ドキュメント表示の最終ページの処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//総ページ数が0でないことを確認 if([w:GD60082] != 0) { //現在ページ数が総ページ数を越えているか比較する if([w:GD60081] > [w:GD60082]) { //表示するページを最終ページに設定する [w:GD60081] = [w:GD60082]; } }</pre>			

5.6.3 オブジェクトスクリプト

ベース画面 30002

オブジェクト	スイッチ	オブジェクト ID	10016～10020
スクリプトユーザ ID	1～5		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り GB60136～GB60140
<pre>if(([b:GB60131] == ON) && ([b:GB60133] == ON)) { [O-0:w:SP122] = 10; //正転&低速運転 } if(([b:GB60131] == ON) && ([b:GB60134] == ON)) { [O-0:w:SP122] = 18; //正転&中速運転 } if(([b:GB60131] == ON) && ([b:GB60135] == ON)) { [O-0:w:SP122] = 34; //正転&高速運転 } if(([b:GB60132] == ON) && ([b:GB60133] == ON)) { [O-0:w:SP122] = 12; //逆転&低速運転 } if(([b:GB60132] == ON) && ([b:GB60134] == ON)) { [O-0:w:SP122] = 20; //逆転&中速運転 } if(([b:GB60132] == ON) && ([b:GB60135] == ON)) { [O-0:w:SP122] = 36; //逆転&高速運転 }</pre>			

ベース画面 30500

オブジェクト	スイッチ	オブジェクト ID *1	20021
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	デバイス書き込み時
<pre>//ページ数がドキュメントの総ページ数を越えないようにします。 if([u16:GD60081] >= [u16:GD60082]) { [u16:GD60081] = [u16:GD60082] - 1; }</pre>			

ウィンドウ画面 30003

オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10014
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り GB40
<p>//時計データより本日の年月を取得</p> <p>[w:TMP950] = [w:GS650] & 0xF000;//設定用時計データより年の下 2 桁の 10 の位を取得</p> <p>[w:TMP960] = [w:TMP950] >> 12;//桁合せ</p> <p>[w:TMP968] = [w:TMP960] * 10;//BCD->BIN</p> <p>[w:TMP951] = [w:GS650] & 0x0F00;//設定用時計データより年の下 2 桁の 1 の位を取得</p> <p>[w:TMP961] = [w:TMP951] >> 8;//BCD->BIN</p> <p>[w:TMP973] = 2000 + [w:TMP968] + [w:TMP961];//TMP973 に年を BIN でセット</p> <p>[w:GD63990] = [w:TMP973];//年をセット</p> <p>[w:TMP952] = [w:GS650] & 0x00F0;//設定用時計データより月の 10 の位を取得</p> <p>[w:TMP962] = [w:TMP952] >> 4;//桁合せ</p> <p>[w:TMP969] = [w:TMP962] * 10;//BCD->BIN</p> <p>[w:TMP953] = [w:GS650] & 0x000F;//設定用時計データより月の 1 の位を取得</p> <p>[w:TMP974] = [w:TMP969] + [w:TMP953];//TMP974 に月を BIN でセット</p> <p>[w:GD63991] = [w:TMP974];//月をセット</p> <p>[w:TMP954] = [w:GS651] & 0xF000;//設定用時計データより日の下 2 桁の 10 の位を取得</p> <p>[w:TMP963] = [w:TMP954] >> 12;//桁合せ</p> <p>[w:TMP970] = [w:TMP963] * 10;//BCD->BIN</p> <p>[w:TMP955] = [w:GS651] & 0x0F00;//設定用時計データより日の下 2 桁の 1 の位を取得</p> <p>[w:TMP964] = [w:TMP955] >> 8;//BCD->BIN</p> <p>[w:TMP975] = [w:TMP970] + [w:TMP964];//TMP975 に日を BIN でセット</p> <p>[w:GD63992] = [w:TMP975];//日をセット</p> <p>[w:TMP956] = [w:GS651] & 0x00F0;//設定用時計データより時の 10 の位を取得</p> <p>[w:TMP965] = [w:TMP956] >> 4;//桁合せ</p> <p>[w:TMP971] = [w:TMP965] * 10;//BCD->BIN</p> <p>[w:TMP957] = [w:GS651] & 0x000F;//設定用時計データより時の 1 の位を取得</p> <p>[w:TMP976] = [w:TMP971] + [w:TMP957];//TMP976 に時を BIN でセット</p> <p>[w:GD63993] = [w:TMP976];//時をセット</p> <p>[w:TMP958] = [w:GS652] & 0xF000;//設定用時計データより分の下 2 桁の 10 の位を取得</p> <p>[w:TMP966] = [w:TMP958] >> 12;//桁合せ</p> <p>[w:TMP972] = [w:TMP966] * 10;//BCD->BIN</p> <p>[w:TMP959] = [w:GS652] & 0x0F00;//設定用時計データより分の下 2 桁の 1 の位を取得</p> <p>[w:TMP967] = [w:TMP959] >> 8;//BCD->BIN</p> <p>[w:TMP977] = [w:TMP972] + [w:TMP967];//TMP977 に分を BIN でセット</p> <p>[w:GD63994] = [w:TMP977];//分をセット</p> <p>[w:TMP993] = [w:GS652] & 0x00F0;//設定用時計データより秒の 10 の位を取得</p> <p>[w:TMP995] = [w:TMP993] >> 4;//桁合せ</p> <p>[w:TMP996] = [w:TMP995] * 10;//BCD->BIN</p> <p>[w:TMP994] = [w:GS652] & 0x000F;//設定用時計データより秒の 1 の位を取得</p> <p>[w:TMP978] = [w:TMP996] + [w:TMP994];//TMP978 に秒を BIN でセット</p> <p>[w:GD63995] = [w:TMP978];//秒をセット</p>			
オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10015
スクリプトユーザ ID	2		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
<p>// BIN -> BCD 変換</p>			

[w:TMP979] = [w:GD63990] - 2000; // 年の下2桁			
[w:TMP980] = (([w:TMP979] / 10) << 4) + ([w:TMP979] % 10); // 年 BIN -> BCD			
[w:TMP981] = (([w:GD63991] / 10) << 4) + ([w:GD63991] % 10); // 月 BIN -> BCD			
[w:TMP982] = (([w:GD63992] / 10) << 4) + ([w:GD63992] % 10); // 日 BIN -> BCD			
[w:TMP983] = (([w:GD63993] / 10) << 4) + ([w:GD63993] % 10); // 時 BIN -> BCD			
[w:TMP984] = (([w:GD63994] / 10) << 4) + ([w:GD63994] % 10); // 分 BIN -> BCD			
[w:TMP985] = (([w:GD63995] / 10) << 4) + ([w:GD63995] % 10); // 秒 BIN -> BCD			
オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10016
スクリプトユーザ ID	3		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 年月設定			
[w:GS513] = ([w:TMP980] << 8) + [w:TMP981]; // 変更時刻デバイスに年月セット			

オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10017
スクリプトユーザ ID	4		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 日時設定			
[w:GS514] = ([w:TMP982] << 8) + [w:TMP983]; // 変更時刻デバイスに日時セット			
オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10018
スクリプトユーザ ID	5		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 分秒設定			
[w:GS515] = ([w:TMP984] << 8) + [w:TMP985]; // 変更時刻デバイスに分秒セット			

ウィンドウ画面 30004

オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10005
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> if([0-0:w:SP115] == 6) { //動作条件成立の時 my.active = 1; //更新を有効 redraw_object(); //オブジェクトを更新 }else{ //動作条件不成立の時 my.active=0; //更新を無効 clear_object(); //オブジェクトをクリア } </pre>			
オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10006
スクリプトユーザ ID	3		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> if([0-0:w:SP115] == 10) { //動作条件成立の時 my.active = 1; //更新を有効 redraw_object(); //オブジェクトを更新 }else{ //動作条件不成立の時 my.active=0; //更新を無効 clear_object(); //オブジェクトをクリア } </pre>			
オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10007
スクリプトユーザ ID	5		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> if([0-0:w:SP115] == 24) { //動作条件成立の時 my.active = 1; //更新を有効 redraw_object(); //オブジェクトを更新 } </pre>			

<pre> } else { //動作条件不成立の時 my.active=0; //更新を無効 clear_object(); //オブジェクトをクリア } </pre>			
オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10008
スクリプトユーザ ID	7		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> if([0-0:w:SP115] == 20) { //動作条件成立の時 my.active = 1; //更新を有効 redraw_object(); //オブジェクトを更新 } else { //動作条件不成立の時 my.active=0; //更新を無効 clear_object(); //オブジェクトをクリア } </pre>			

*1 オブジェクト ID は画面流用時に変更される場合があります。

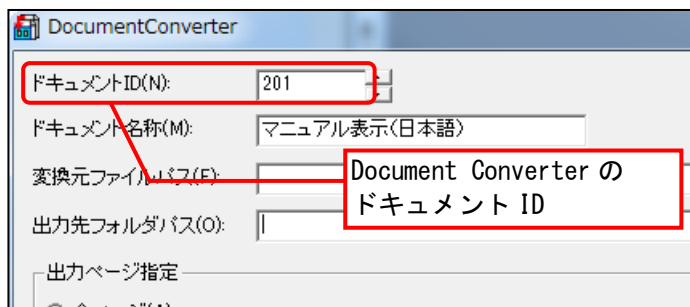
6. マニュアル表示について

マニュアル表示は、ドキュメント表示機能を使用して表示しています。ドキュメント表示機能の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。ドキュメント表示機能は言語切り換えに非対応のため、サンプル画面では選択した表示言語にあわせてドキュメント ID を変更することで、ドキュメントの言語切り換えを実現しています。

6.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備

例：ベース画面 B-30500：マニュアル表示に日本語のマニュアル(ドキュメント)を表示する場合

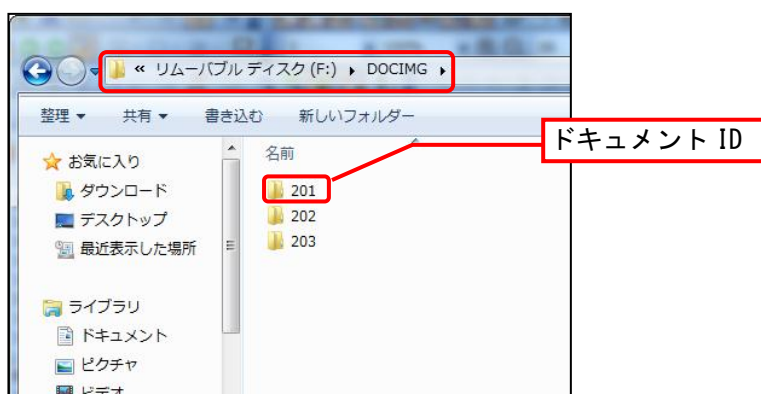
- (1) 表示するマニュアル(Word や Excel など)を Document Converter を使用してドキュメント表示機能用のドキュメントデータ(JPEG ファイル)に変換します。Document Converter の[ドキュメント ID]に 201 を設定します。
※ドキュメント ID と表示言語の対応は下記表を参照してください。



コメントグループ列 No.	言語	ドキュメント ID
1	日本語	201
2	英語	202
3	中国語(簡体)	203

※Document Converter は 2.09K 以降のバージョンを使用してください。2.08J 以前のバージョンでは総ページ数とページ切り換えスイッチが正しく動作しません。

- (2) ドキュメントデータは DOCIMG フォルダの 201 フォルダ内に生成されます。DOCIMG フォルダ以下のフォルダ構成は変更せずに、DOCIMG フォルダごと SD カードのルートディレクトリに保存してください。



SD カードのフォルダ構成

備考：総ページ数が 100 ページ以上の場合

本サンプルは総ページ数が 99 ページまでのドキュメントを想定しています。100 ページ以上の場合、総ページ数および現在表示中ページ番号の表示を行う数値表示の書式文字列(＃の数)を修正してください。